

2018年02月(11編)

2019年2月1日のアーカイブ

六甲山系に冠雪&スパー



「すずらんの湯」へ行く途中、六甲の山なみが薄化粧。

底冷えの中、温かい湯を求めて緩勾配をウォーキング。

温泉に浸かりホッコリ、モッコリ。

一日遅れのワイフの誕生日をビールで乾杯。

湯上がりのビールが五臓六腑にしみわたる。

思えば長らく生き延びたもんだ。

2019年2月1日 カテゴリー：フード, ぶらっと神戸 投稿者：yuyu-sha

2019年2月2日のアーカイブ

1987、ある闘いの真実&LBJ ケネディの意志を継いだ男



1987、ある闘いの真実

1987年、軍事政権下の韓国。

民主化闘争は大統領の公選を求めて大運動に発展。

「韓国の大統領は大統領がきめる」と言われた独裁政権の終焉を自日のもとにさらけ出す。
韓国民衆の矜持に触れて気分が高揚する。

・督・脚本：チャン・ジュナン

・出演：キム・ウンソク／ハ・ジョンウ／ユ・ヘジン／キム・テリ／ソル・ギヨング・2017年／韓国／1987:

LBJ ケネディの意志を継いだ男

ケネディ暗殺後、大統領に就いたジョンソンがケネディの遺志について公民権法を成立させまでの苦闘を民主党内部の対立を軸に映す。

ベトナム戦争泥沼化の印象が強いジョンソンの違う側面に触れ、アメリカの現状をもしる。

・監督・脚本：ロブ・ライナ
・出演：ウッディ・ハレルソン／マイケル・スタール＝デビッド／リチャード・ジェンキンス／ビル・プルマン／ジェフリー・ドノバン・2016年／アメリカ／LBJ

(於いて；湊川パルシネマ)

2019年2月2日 カテゴリー：[鑑賞\(映画・演芸 etc.\)](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年2月5日のアーカイブ

歌を演じる「ちあきなおみ」

テレビで「ちあきなおみ」を観た。

『ちあきなおみ魂の熱唱！伝説の名曲20選』と銘打って2時間。

勤め人をクビになって以降、好んで「ちあきなおみ」を聞くようになった。

彼女の歌は記憶の底に閉じ込めている人生の懊惱たる思いを呼び覚ましてくれる。

じっくり観て、聴かせて貰ったが一曲一曲を歌いきり、演じきる力は「歌手の域」を超えている。

「私の時代」に寄り添った歌い手を一人と言うならば迷わず「ちあきなおみ」を挙げる。

表舞台から消えて久しいがそれもまた還らぬ日への郷愁をそそる。



(BSテレ東 ちあきなおみ 魂の熱唱) より

2019年2月5日 カテゴリー：人ありて 投稿者：yuyu-sha

2019年2月6日のアーカイブ

水滴に映えるスイセン

一年でもっとも冷える二月。

我家の周辺アチコチにスイセンの花が点在する。

別名「雪中花」と呼ばれ、雪の中でも凛とした可憐な花を咲かせる。

雨上がりの正午まえ、近くのスイセンを切り撮った。

水玉の賑わいがうつむき加減に咲くスイセンの色つやを増す。



2019年2月6日 カテゴリー：[丸太小屋の四季](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年2月8日のアーカイブ

[寒さに負けずー「すずらんの湯」](#)

温泉の休憩室で書いている。

ルーティンワークとなった「温泉行」はなくてはならないものとなった。

有馬温泉と同質の湯。

行き帰り、アップダウンを往復5千歩。

有馬街道取っ付きの標高が316m、温泉が366m、高低差50m。

片道2キロを北風にあらがいながら・・・。

湯上がりの食事とビール。

ホッコリ、モッコリのひと時。



2019年2月8日 カテゴリー：[チョット一息](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年2月9日のアーカイブ

[春節祭 in 南京町](#)



春節祭で賑わう元町通りを歩く。

生鮮食品を売る店が増えている。

生ものの魚を売っている店もできている。

夕食をユーハイムで。

中華街近くの元町本通1丁目にユーハイム本店がある。

ユーハイムはバウムクーヘンが有名だが、おいしくてリーズナブルな価格で評判の洋食をいただく。

神戸牛を使用していない「ビーフシチュー」をオーダーしたが私たちはこれで充分だ。

神戸らしい洋食をとりそろえました。



ユーハイム神戸元町本店オリジナル
ビーフシチュー前菜・パン又はライス付 税込 ¥1,200



神戸牛のハンバーグ
前菜・パン又はライス付 税込 ¥1,800

2019年2月9日 カテゴリー：[フード](#), [ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年2月15日のアーカイブ

牡蠣三昧 in 相生湾

牡蠣を食べたくて相生湾を臨むホテル「万葉岬」にやって来た。

此処で戴く牡蠣は素晴らしい風景と相まってひときわ味が深まる。

食卓に並んだ色とりどりのジューシーな牡蠣料理を口にすると日本人に生まれて良かったと思う。



和み	御献主	先付け	造り	鮮魚二種と	牡蠣と白菜
食事					
香の物					
留め椀					
デザート					
ホテル万景軒					
料理長					
季節のデザート	三種	牡蠣釜飯	牡蠣フライ	牡蠣と赤鮓	牡蠣と白菜
余味噌仕			ど根性大		

2019年2月16日のアーカイブ

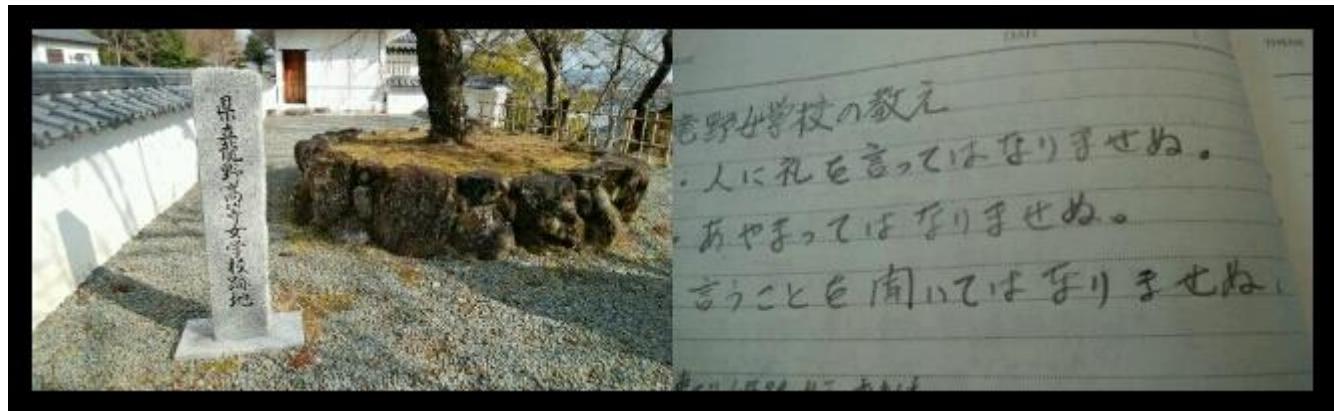
「たつの」三題

古い町並みの似合う「たつの」を歩いた。

1. かつて、播磨の国に住む城主の中で最も格式の高かった龍野城。



2. 「たつの」 女性は進取の気風に溢れていた。



3. 「揖保乃糸」の本場でにゅう麺 を戴いた。

梅は三分咲き。



2019年2月16日 カテゴリー：[物見遊山・旅](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年2月21日のアーカイブ

[妻の愛、娘の時&あいあい傘](#)



[妻の愛、娘の時](#)

久しぶりに観る中国映画。

中国映画の興隆は著しく、中国内のスクリーン数は世界一。

田舎に妻を残し出奔した男が街で結婚し生まれた娘が主人公。

主人公の母親が亡くなり父親も既に他界。

これを機に父親を故郷の墓に帰そうとするが田舎の妻が拒否する。

激変する中国社会、核家族化、都会と田舎の格差。

目まぐるしい社会の中の家族。

父母・主人公夫婦・主人公の娘カップル、三代の家族の愛と葛藤を社会のうねりに委ねて妙。

・監督：シルビア・チャン

・出演：シルビア・チャン／ティエン・チュアンチュアン／ラン・ユエティン／ウー・イエンシュ／ソン・ニンフォン

・2017年／中国・台湾合作／相愛相親 [Love Education](#)

あいあい傘

幼い頃、父親が失踪。

成長した娘が父親探しの旅をする。

探しあてた父親は新しい家族と。

父と娘の愛憎を関わりあう人びとと共に軽妙に書きながらもしみじみと情感が伝わってくる。

「あいあい傘」は雨が激しくなればお互いの身を強く引き寄せる。

・監督・脚本：宅間孝行

・出演：倉科カナ／市原隼人／立川談春／原田知世／入山杏奈

・2018年／日本（於いて；湊川パルシネマ）

2019年2月21日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha

2019年2月22日のアーカイブ

水ぬるむ日のスパー

暖かくなった。

恒例の温泉いき。

最近、一時間近くゆっくりと湯舟で。

サウナも使い汗を放出。

本日のランチは海鮮丼。

昼食後休憩室で一時間ほど午睡。

ブログをアップして3時にスパーを出る。



2019年2月22日 カテゴリー：チョット一息, フード 投稿者：yuyu-sha

2019年2月23日のアーカイブ

[本マグロの解体ショー・本番前](#)

朝、鈴蘭台近くのスーパーへ。

魚壳場をうろついていると出番を待つマグロを発見。

店の人に聞くと、体重は47kgとのこと。

私を何と間違えたのか?、「12万円で譲りマッセ」

と言うことは歩留まり50%として1kg がおよそ5千円。

100g で500円。

100g を500円で買えるのはメバチ、キハダの類で本マグロの店頭価格は赤身で千円ほどか?

スーパーで本マグロをあまり見かけないが我々年金生活者に本マグロは高嶺の花。



2019年2月23日 カテゴリー：フード 投稿者：yuyu-sha